

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
平成30年 9月13日 (木)
- 2 確認箇所
既設淡水化装置 (RO3)
- 3 確認項目
既設淡水化装置 (RO3) で発生した漏えい事象の対応状況
- 4 確認結果の概要
既設淡水化装置 (RO3) で7月に発生した以下の漏えい事象について、原因及び対策の実施状況等について聞き取りし、現場確認した。

ア フィルター空洗用エアホースからの漏えい事象

(平成30年7月18日発生)

【事象の概要】

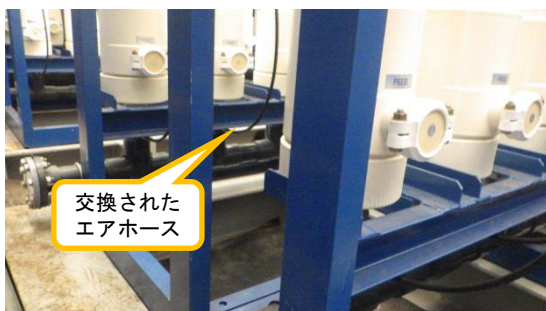
フィルター空洗用エアホースが損傷し、そこから系統水 (RO装置処理前の水) が漏えいした。フィルター前後弁の全閉により漏えいは停止し、漏えい水は堰内に留まり外部への流出はなかった。

(聴取内容)

- ・空洗用エアホースの経年劣化により、内圧に耐えられず、ホースが破損し、漏洩したものと推定している。
- ・対策として、新しいエアホースに交換した。

(現場の状況)

- ・前回確認時 (平成30年7月25日)、漏えい水は回収されていたが、漏えい箇所の空洗用エアホースは外され、交換は実施されていなかった。今回確認時は、新しいエアホースに交換されていた。(写真1)



(写真1)

イ スキッド2の処理水出口配管ユニオン部からの漏えい事象

(平成30年7月19日発生)

【事象の概要】

当該装置の起動時にスキッド2のRO処理水出口配管ユニオン部からRO処理水が漏えいした。漏えい水は堰内に留まり外部への流出はなかった。

(聴取内容)

- ・配管通水時の内液の脈動現象により、ユニオン部のネジ部が緩んだものと推定している。
- ・脈動対策として、ポンプ下流から当該事象発生場所の間に緩衝装置を設置し、当該ユニオンガasketの交換及びユニオン部の増し締めを実施した。
- ・水平展開として、他のユニオン部の確認を実施中である。

(現場の状況)

- ・前回確認時(平成30年7月25日)、漏えい箇所及び周辺配管がビニールで養生されていたが、本日確認時はビニールが外されていた。(写真2)



(写真2-1)

ROスキッド2の状況



(写真2-2)

ROスキッド2の状況(拡大)

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。